

岐阜県代協ニユ

平成29年1月
vol.262



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

あぜち まさはる

会長 畦地 正治

平成29年1月17日、グランヴェール岐山に於いて、総勢141名の多くの皆様にご参加いただき、賀詞交歓会を開催いたしました。

新年のスタートとして皆様とともに杯を交わし、この一年の飛躍を誓いあって、短い時間ではありましたが楽しく過ごせましたこと深くお礼を申し上げます。ご参加いただきました会員、賛助会員、保険会社の皆様、ありがとうございました。ご協力をいただきました関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

また、日本代協より1月1日から You Tube で配信が開始されております2本の動画を本会の開会前と開会後に視聴いただきましたが、我々保険に携わる者として胸に強く残るものでした。多くの方々に見ていただきますよう、日本代協のホームページ特設サイトより簡単に視聴が可能ですので、代協会員以外の皆さまにもご紹介ください。



1月17日と言えば、1995年のその日、午前5時46分に兵庫県淡路島北部を震源とする『阪神・淡路大震災』が発生しました。当時の資料によると岐阜の震度は4でしたが、自宅で就寝中の私はこの揺れで目を覚ました。数時間後のテレビで神戸の街並みが燃えているのを見て大変驚いたことを思い出します。その日は私の誕生日でもあり、自身の誕生日と震災記念日が重なったことで、喉元過ぎれば熱さを忘れがちな私に歳を重ねる度に震災のことを思い出させます。被災地は今、復興して美しい街並みを取り戻していますが、世界有数の地震国である我が国ではどこにいても地震の被害から逃れることはできません。しかも、地震は大きな破壊力をもって多くの命と財産を奪い甚大な被害をもたらします。地震大国である日本に生活拠点を置く限り、地震に対する備えはあるに越したことはないでしょう。近い将来、『東日本大震災』を超える災害が発生する可能性だって否定できない日本です。そうあって欲しくないのは当然ですが、こればかりは人間の力ではどうすることもできません。しかしおびえては生きていけません。地震のリスクを認識して準備をしておく必要があると思います。

『東日本大震災』を機に、地震保険への注目が一気に高まりました。地震保険は50年余の歳月をかけ、改善を重ねられてきた優れた制度です。併せて地震保険は契約者の保険料で賄われる自助に位置付けられませんが、市場原理に基づく「保険」というだけでなく国の関与の下、社会全体でリスクを分担する「連帯」の側面も併せ持つ、極めて高度な仕組みでもあります。何よりも地震保険は被災者が暗闇の中から将来に向かって最初の一步を踏み出す「希望の光」となる力を有しています。地震保険の必要性を広く消費者に伝え、情報提供と普及を進め地震リスクからお客様を守っていきましょう。我々、地域に生きる代理店は広くお客様にリスク啓発を行いながら地震保険の役割を伝え、その活用を促していかなければなりません。2015年度の岐阜県の付帯率は73.1%ですが、世帯加入率は33.6%でしかありません。「あの時もっとしっかりとお勧めしておけば良かった」と後悔することがないように、安心安全な社会づくりに貢献してまいりましょう。そして、願わくば『東日本大震災』が戦後最大の災害であり続けてくれることを祈るばかりです。

1 p・・・会長挨拶／目次	8 p・・・中さんの保険諸国慢遊記 (129)	①
2 p・・・スケジュール／事務局より	9 p・・・	②
3 p・・・賀詞交歓会報告	10 p・・・	③
4 p・・・支部活動報告①	11 p・・・『街道シリーズ』(飛騨街道 1)	松尾 一
5 p・・・支部活動報告②／委員会報告	12 p・・・提携事業者広告掲載①	
6 p・・・会員投稿	13 p・・・提携事業者広告掲載②	
7 p・・・代理店紹介 (岐阜支部)	14 p・・・提携事業者広告掲載③	
	15 p・・・新提携業者のご紹介	

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
1	17	火	岐阜	役員会(17:00～)	グランヴェール岐山
	17	火	東海ブロック	第3回教育委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	18	水	東海ブロック	第4回教育委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	20	金	西濃	新年会(18:00～)	一天張
	20	金	飛騨	新年会(18:30～)	脇陣
	27	金	組織	委員会(14:00～)	県代協事務局
2	1	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	7	火	岐阜	役員会(12:00～)	ひしの寿司
	8	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター
	9	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	14	火	中濃	例会(10:30～)	太田宿
	14	火	飛騨	例会(13:30～)	損保ジャパン日本興亜高山支社
	14	火	東海ブロック	東海ブロック協議会(13:30～)	愛知県代協事務局
	15	水	岐阜、中濃	岐阜、中濃合同セミナー(14:30～)	ふれあい会館
	17	金	東海ブロック	第4回CSR委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	25	土	広報	『損害保険トータルプランナー広告掲載』	中日新聞 岐阜県全域版
3	10	金	CSR	地震保険普及キャンペーン	各支部
	24	金	西濃	ボウリング大会(18:00～)	大垣ボウリングセンター

～ 広報機関誌委員会より ～

★『損害保険トータルプランナー新聞広告』について

例年、恒例となっております豊富な経験と高度な知識を習得したプロ中のプロである「損害保険トータルプランナー」の皆様を中日新聞の紙面を通じて、広く紹介し、また業界全体の認知・信頼度を上げることをねらいとして、今年度も『損害保険トータルプランナー新聞広告』を中日新聞朝刊岐阜県全域版に掲載を企画いたしました。

平成29年 2月25日(土)の朝刊 に掲載予定ですので是非ご覧ください。

なお、2月24日(金)朝刊に掲載予定でしたが、中日新聞社の都合により変更となりましたことお詫び申し上げます、ご案内を願い申し上げます。

★新シリーズ『飛騨街道』掲載始まる！

地域史研究者、エッセイストの松尾一先生に執筆いただいております『街道シリーズ』ですが、今月号より飛騨街道へと進んでまいります。お楽しみに・・・

(委員長 北村 篤俊)

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当:小川百合子)

【賀詞交歓会開催報告】

平成29年賀詞交歓会を下記のとおり滞りなく終えましたことをご報告し、多数の皆様にご出席、ご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

開催日時 : 平成29年 1月17日 (火) 18:00～
開催場所 : ホテルグランヴェール岐山 鳳凰
ご来賓 : 一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 岐阜損保会会長 児玉 進矢 様
(東京海上日動火災株式会社 岐阜支店長)
一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部 岐阜損保会副会長 江本 芳彦 様
(三井住友海上火災株式会社 岐阜支店長)

ご来賓の皆様、各保険会社社員の皆様、賛助会員様、そして正会員より多数のご参加をいただき、総勢141名のもと、盛大に会が開催されましたこと重ねてお礼申し上げます。
昨年4月の熊本地震や平成23年3月の東日本大震災の被災地での損害保険トータルプランナーに密着したドキュメンタリー映像である「二度と後悔はしたくない ～震災を経験した損害保険代理店の誓い～」と、「歩んできた道、歩んでいく道」と題したお客様との間に生まれたかけがえのない絆で結ばれたストーリーの2本の動画を本会開会前と開会後にそれぞれ視聴いただきました。
この2本の動画は「人とのつながり」、「絆」をコンセプトに損害保険トータルプランナーや、プロ代理店の役割を描いた会員宛てのPR企画番組としてYouTubeで配信中の動画です。
今回都合によりご参加いただけなかった皆様も日本代協のホームページの特設サイトでYouTubeのURL、番組内容等が紹介されておりますので是非ともご視聴下さい。

また、岐阜支部会員「エール(株)」遠藤 昌克様、「(株)高橋保険コンサルタント」高橋 励様、飛騨支部会員「(有)コア」坂家 賢司様の3名により特別結成されました『損害保険トータルブラザーズ』によるギター生演奏、そして数名の会員の方には曲に合わせての生歌披露をいただきました。普段の姿とは違う一面に驚き、その雄姿をカメラに収める方も沢山おられました。会場を明るくし、彩を添えていただきました皆様に感謝申し上げます。またの機会に、また違う曲もご披露いただきたいと思います。

(報告者 専務理事 森 信彦)



支部活動報告

【岐阜支部 1月役員会報告】

開催日時 : 平成29年1月17日(火) 17:00～ 開催場所 : グランヴェール岐山
参加者数 : 10/16名 報告者名 : 井戸貴之

《議題》

①2月セミナーについて

セミナーを2/15(水) 中濃支部と合同で行います。今回は岐阜大学の能島教授をお招きして、地震についての講演をお願いします。場所は県民ふれあい福寿会館14Fです。

定員は最大80名ですので、先着順となります。FAXが届き次第すぐに申込をお願い致します。

②県代協より委員会報告

1月から献血キャンペーンが始まっております。岐阜支部ではまず役員が2/7(火) 13:30に茜部の赤十字血液センターにて献血を行う予定です。皆様の善意をお待ちしております。

※次回役員会 平成29年 2月 7日(火) 12:00～ ひしの寿司 にて

【西濃支部 1月例会報告】

開催日時 : 平成29年1月11日(水) 11:30～ 開催場所 : 大垣「五右衛門」
参加者数 : 13名 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

①委員会・・・

- ・企画環境・・・富士火災による大垣商工会議所の団体割引について当会員の代理店より注意喚起依頼
- ・広報機関誌・・・トータルプランナーの新聞広告の申し込み期限の案内 1月16日締め切り
- ・CSR・・・献血のお願い・・・1月、2月の岐阜県代協献血キャンペーン
- ・教育・・・トータルプランナーの申し込み状況と受講依頼
- ・県代協・・・賀詞交歓会の案内と参加人員確認 平成29年1月17日(火) グランヴェール岐山

《その他》

- ・西濃支部新年会の案内と出席者確認 1月20日(金) 大垣「一天張支店」
- ・3月10日 地震保険普及キャンペーン
- ・3月24日 支部ボウリング大会

※次回例会 2月1日(水) 11:30分～ 大垣「五右衛門」

【中濃支部 新年会報告】

開催日時 : 平成29年 1月13日(火) 18:00～
開催場所 : 昇月
参加者数 : 33名(会員、保険会社、提携業者含)
報告者名 : 福地 誉

《その他報告事項》

2月15日(水) 14:30～ 岐阜支部と合同セミナーを開催いたします。
演題は「地震について知っておきたいこと ～2016年熊本地震を踏まえて～」
講師は 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 能島 暢呂氏です。
詳細は、追ってお伝えしますので、皆さんの参加お待ちしております。

※次回例会 平成29年2月14日(火) 10:30分～ 中山道会館太田宿にて

【東濃支部 1月例会報告】

開催日時 : 平成29年 1月12日(木) 11:30～ 開催場所 : みわ屋
参加者数 : 9名 報告者名 : 安江 努

〈議題〉

- ①支部長より・・・賀詞交歓会参加のお願い
- ②委員会報告・・・企画環境・・・商工会議所団体自動車保険について
 - ・教育・・・コンサルティングコース受講について
 - ・広報機関誌・・・トータルプランナー中日新聞広告について、岐阜放送CM事業について
 - ・CSR・・・献血について、地震保険普及キャンペーンについて
 - ・組織・・・退会者について
- ③担当副会長より・・・コンサルティングコース受講率について

※次回例会予定 2月 9日(木) 11:30～ みわ屋にて

【飛騨支部新年会報告】

開催日時 : 平成29年 1月20日(金) 18:30～
開催場所 : 協陣
参加者数 : 26名(正会員15名、賛助会員7名、保険会社4名)
報告者名 : 清水 公男

※次回例会 平成29年 2月14日(火) 損保ジャパン日本興亜高山支社3Fにて

委員会報告

【組織委員会】

★新入会員紹介

岐阜支部 東ブロック : 辻 辰繁 代申 富士火災海上保険

店主 辻 辰繁 様

〒500-8358 岐阜市六条南 2-12-8

TEL 058-273-5600 FAX 058-276-9400

(平成28年12月16日入会) 紹介者 福地保険事務所 福地 誉 様

★全国一斉「代協正会員2月増強キャンペーン」のご案内

平成28年度都道府県代協正会員増強運動において、4月～11月末日現在の代協正会員数は平成28年3月末比較▲5店の12,042店、目標の12,620店に対し▲578店という現状です。年間目標である12,347店を早期に突破し、目標の12,620店を達成すべくキャンペーン実施が提案され、12月12日の第6回日本代協理事会にて、その実施が決定いたしましたのでご案内申し上げます。

開催時期は、平成28年2月1日(水)から2月28日(火)の1か月間です。

2月末年度累計＝全国純増目標：476店

岐阜県代協の年間増店目標は15店！！

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(報告者 組織委員長 川島 邦夫)

会員投稿

～節分祭のすすめ～

無病息災、家内安全。誰もが願う素朴な願い。

二十四節気中の季節の始まり、立春・立夏・立秋・立冬の前日を「節分」といいます。でも、一般的に「節分」というと、春を指すイメージが強いですね。

四季のはっきりした日本において、生産性が下がり、衣食住にも困難が伴う冬の時期を乗り越えることがいかに大変であったか。それが、新たな命息吹く季節への高揚感や、春を待ち望む気持ちと相まって、「節分」を代表するまでになったのかもしれない。

元々、宮中行事であったものが一般に浸透し、未だに家庭にも入り込んでいるものは少なく、諸説入り乱れながらも「豆をまいて鬼を払う」という方法で愛され続けています。

「豆」は「魔滅」の意味をこめ、様々な災いを払い幸せになりたいという人間の願いを乗せて撒かれることに。

古くからのいわれや行事は、一見すると迷信のようにも思われがちですが、それぞれ根拠があるようです。

節分といわれる4度の区切りも、季節の変わり目に起こりやすい環境変化に伴う体調不良を意識したものといえます。厄年の、年齢による変化と同じように、科学的にも統計学的にも重要な頃合いであるようです。

そういったときには、必ず、「起こりやすい現象」やそれに対する「対処法」があり、口伝えでしか広められなかった時代においては、「言い伝え」の形で残っていくことになったのかもしれない。

日本人は、神様を見つけるのが得意な人々だと感じます。唯一の○△※○神を崇めるというよりも、自然の中にたくさんの神様を見つけ、それぞれに手を合わせることでできる柔軟で素敵な感覚を持っています。

お米には7人の神様がいて、トイレにも…

それは言い換えれば、何にでも感謝することができるとても幸せな民族とも言えます。

節分でも、最近では恵方巻きを食べることも増え、根拠はよくわからないまでも、そこに「願い」があることに違いはありません。「鯛の頭も信心から」などという言葉もありますが、信じることで、安心して前へ進めるということは間違いなさそうです。

そこに、「感謝」が伴えば、幸せになれる！

幸せは、そこに安心して存在できることから生まれるのかもしれない。それには、何よりも、健康であることが大前提。

「無病息災」「家内安全」を願いながら、豆を撒き、今日も存在していることに感謝できれば、これ以上の幸福はない！！

節分祭、楽しんでみてはいかがでしょうか。

(清水 公男)



代理店紹介

岐阜支部 株式会社 みらい

<代理店名>
株式会社 みらい

<所在地>
〒502-0909
岐阜市白菊町4丁目16番1
Tel 058-296-6301
Fax 058-296-6302

<代表者>
代表取締役 渡邊 年章

<スタッフ>
6名(男性 4名、女性 2名)
専務取締役 上田 健太郎、
常務取締役 木村 恵太郎、
事務スタッフ 上田 佳織、新井 恵里、
研修生 渡邊 勝寛

<取扱保険会社>
損保 あいおいニッセイ同和損保株式会社、
日新火災海上保険株式会社、
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 計3社
生保 三井住友海上あいおい生命保険株式会社、
日本生命保険相互会社 計2社

<略歴>
昭和 50年 「マキ保険事務所」開業
昭和 54年 12月 「岐忠保険事務所」開業
平成 20年 4月 「(株)未来」として合併
平成 24年 5月 「(株)みらい」へ変更
平成 28年 6月 現住所へ移転

<事務所の環境>
マーサ21まで車で10分、岐阜環状線に側面した場所にあり、東西南北に移動しやすい環境です。

<経営方針>
(1) 信頼される代理店として、地域の個人・企業の皆様のリスクマネージメントに努め、安心と安定に貢献する企業を目指します。
(2) 「お客様第一」をモットーに、豊富な保険商品の中よりの確かな商品と最高のサービスをご提案し、お客様との共存共栄を計ります。
(3) 自己研鑽に努め、社員一人ひとりが最大限の能力を発揮し、専門知識・コンプライアンス・サービス品質等の向上に努めます。



デジタル化で問われるネットワーク産業としての代理店モデル

◇改修工事予定道後温泉本館での幸せなひととき

1月13日、愛媛、松山で、愛媛県民生活文化センターでの愛媛県代協賀詞交歓会の記念セミナー講師で呼ばれた。午後1時50分からであったが、せっかくの機会なので早朝の便で出かけ、空港からバスで道後温泉本館に直行、湯につかる機会を得た。道後温泉は愛媛に来ると必ず訪れているが最近では、一昨年5月、昨年2月に続いてである。本年秋には愛媛国体が開催されるが、国体終了を待って10月末には耐震修理工事に入り完成までの7年は利用は大幅に制限されるとみられる。このため、今のうちにとの駆け込みツアー客が押し掛け芋を洗うような混雑ぶりと聞いていたので、恐る恐る出かけたものだった。

行ってみると、金曜の午前10時ということもあり、思いのほか空いていたのは何よりだった。ひと風呂浴びるだけなら410円、2階席利用でもそれほど高くはないが、めったに來れないので、3階個室にする。4畳半80分で1550円。1階の神の湯だけでなく、霊（たま）の湯にも入れる。昔ながらの街の常連客がたむろする大衆浴場の気さくな感じ、ここのアルカリ泉質のなめらかで透明のお湯と大理石の深めの浴槽が気に入っている。霊の湯は、入っていた約20分間まさに貸し切り状態でゆったり浸かることができ、次に向かった1階の神の湯でも東浴室6人、西浴室8人と常連の地元の方と思しき年配の方々が楽し気に風呂に浸かっているだけと、あまりの少なさに拍子抜けした。

風呂から上がり個室に浴衣姿で戻ると、お茶と坊ちゃん団子を持ってきてくれる。ドライヤーも部屋に備え付けである。コーヒー牛乳(120円)も湯上りに飲む。この3階からの景色はまた実に良い。廊下を隔てた反対側が夏目漱石ゆかりの坊ちゃんの間。ここは見学専用になっている。穏やかな冬の日差しが窓越しに差し込んできて個室でごろり、実に幸せなひとときであった。

昼時、道後温泉椿の湯の前に新たにできた宇和島郷土料理の店かどやで、宇和島鯛めし御膳と生き造り3種、松山鶏のから揚げを食べたが、宇和島伊達の真鯛とマグロ、戸島のブリは新鮮で涙が出るほどでした。海藻と大葉とだし汁と真鯛の刺身の卵かけごはんもこりゃたまらん。

◇2017年は波乱の幕開け

年初ということもあるので、2017年の留意点をいくつか提起してみよう。1月20日、大方の予想を覆し選挙に勝利した、まさに異色づくめのトランプ米国第45代大統領の就任式があった。就任後、最初に着手したのは公約通り、TPPからの離脱しかも永久離脱と、カナダやメキシコなどのFTA再交渉、オバマケアの見直しの大統領令の発出であった。今後目玉の法人税の大幅減税、還流税制、国境調整税制などに踏み込んでゆくことで、その劇薬的な作用は、自国経済へのカンフル効果のみならず他国を巻き込んだ大きな市場変動局面をもたらすことが予想される。

これにより、今後世界的な政治経済状況に今後どのような新たな局面が出てくるか、まさに波乱の年明けとなった。米国第一主義に大きくかじを切るトランプ政権の動向次第で今後各方面にどのような影響が出てくるか、予断を許さない展開となろう。日本でもすでに、トランプリスクにより、円や株がどちらに触れるか、固唾を呑んで見守る展開になりつつある。

米国のTPP離脱により、今後貿易摩擦は、米国からの2国間交渉要求の場で、対日貿易赤字解消を狙いとした、米国利益第一の厳しい要求が出てくることが予想され、かつての日米通商交渉のハードな新たなラウンドが始まりかねない。

◇生保販売は冬の時代か？

保険代理店事業を展開する上で、生損保総合販売は不可欠になっているが、生保市場は本年は実に厳しい環境に直面する。昨2016年はマイナス金利政策が生保業界へ大きな影響を与え、一時払終身保険など一部商品の売り止めや予定利率の引き下げが相次いだ。また2017年に入っても低金利状態が継続しており、

運用面では国債中心の運用からの転換・多様化を余儀なくされるなど生保に業界にと取っては依然厳しさが増している。

マイナス金利の長期化は一時払終身保険や年金保険などの貯蓄性商品のみならず、平準払い商品についても大きな影響を与える。昨年末から今年にかけてトランプ米大統領選勝利でインフラ投資拡大の期待から米国の長期金利が上昇、日本国内では円安・株高となり、売り止め商品の販売再開などの動きも出てはいるが、しばらくは冷静に市場・金利状況を見てゆこうというのが生保各社の共通した認識で、再開のメドは立っていない。

2017年4月からは平準払契約の標準利率が現行の1%から0.25%に引き下げられる。標準利率は保険会社が責任準備金を積み立てる際の計算基礎となるものだが、責任準備金の積立負担から保険料の基礎の一つである予定利率引き下げ（保険料の引き上げ）も必要になる。保険料アップは新規契約分からの適用となるため、2～3月は一時的な駆け込み需要が生まれるが、4月以降、終身保険、個人年金保険、学資保険など貯蓄性商品の魅力が一層薄れるのは必至で、各社で商品対応が注目される。

また、今後の動きとして標準生命表（10年毎に改定）が2018年4月変更の予定だ。平均寿命の伸びに伴い死亡率は各年齢で下がるため死亡保障の保険料は下がる方向だが、第三分野は総じて値上げの方向になることが見込まれる。

生保では貯蓄型が一層販売しにくい環境となることとで、保障型中心でコンサル販売の如何がカギとなっていこう。

◇デジタル化でどうなる人のネットワーク産業

昨2016年はデジタル化が保険の世界のみならず全産業で大きな話題となったが、本年もこの流れはさらに強まろう。モノのネットワーク（IoT）、自動車や住宅をはじめあらゆるものがインターネットでつながり、AIやビッグデータ、センサー技術、ブロックチェーン技術なども加わり、自動運転車やスマートハウス、ビットコインなど新たなビジネスモデルを作り出す。金融サービスなどの取引の在り方を変える。まさに情報化も、産業界に破壊的創造をもたらす新たな段階にきている。

このような流れは、巨大な専門金融業者、仲介専門業者を通さずに、スマホ等を利用し同等のネットワーク参加者同士が低コストで瞬時に取引等に参加できかつ安全性が担保されるところに特徴があり、今やグローバルな流れとなりつつある。保険の世界の応用例では、個人の個性・特性を記録化し評価し、細分化した保険商品を提供することにつながるもので、顧客も単に保険カバーの対象者として扱われるだけでなく、リスク低減への参加者、責任主体としての位置づけであるのが特徴で、しくみ的には、任意共済的な構造をとり、欧米ですでに具体的な展開も始まっている。

金融や保険の世界もこの流れを受けてビジネスモデルの革新に大わらわで、これまで主導権をとってきた大企業ですら進路選択を誤れば、衰退の道をたどりかねない。まさに従来型のビジネススキームが急速に陳腐化し産業構造が劇的に変わろうとしている。それがグローバルな規模で展開されているだけに、我が国もまた、デジタル化の障害となるルール変更、規制緩和の検討も急ピッチに進む。

◇近代化から、さらにネットワーク化へ

保険の世界でも2016年5月29日、保険業法改正施行というルール変更があったが、これは、とりあえず保険募集の在り方の近代化促進策で、製販分離を明確にし、代理店業界にコーポレートガバナンスを効かそう、PDCAを回せる経営にしよう、事業の透明性を高めよう、経営品質を向上させようという、家業から企業へ、属人的な不透明な業務の流れから脱却させるためのしごく当たり前の取り組み。問題は世の中はさらにその先（デジタル化）を行っていることで、垂直的な静的・閉鎖的組織体からオープンかつ軽量の水平型のネットワーク組織体の要請という時代の変革にスピードアップし合わせていけるかだ。

保険の販売戦線では、今、大資本による、体制整備負荷や収益確保に悩む中堅の乗合代理店の買収が相次いでいる。銀行系や商社系の機関代理店による他の企業系機関代理店の買収や、銀行（主に地銀）や証券、通信、ネットを含めた流通小売り業などの異業種の保険参入も活発だし、保険会社も傘下に乗合代理店を組み込んだり、販社強化の動きも活発化している。

果たしてこのような代理店の大規模化が未来志向型なのであろうか。今回のルール変更は、コーポレートガバナンスを効かせた経営体構築による募集品質向上と顧客本位の業務運営に主眼がある。そこからある程度の経営品質確保は当然だろうが、大規模化が不可避との受け止め方には賛同しかねる。小規模すなわちスモールかつコンパクトな事業経営が必ずしも否定されていないところに留意する必要がある。むしろデジタ

ル化に対応し、顧客本位の業務運営を基本とするコンパクトビジネスモデルの代理店間のオープンかつ柔軟なネットワーク組織をどのように構築してゆくか、そのことが重要になってきているのではないかと。

<人のネットワーク産業>としての保険代理店は、単なる保険販売業ではない、地域・社会への貢献、個人や事業者の良き相談相手、よろず相談窓口として存在してきている独特の特筆を備えた付加価値サービス業である。代理店単体として対応できない分野こそネットワークを生かしてサービスを補完し合えるオープンな仕組みを作ればよいのだ。それ故に人づくりとそのつながりによる高品質サービス提供が大事な産業なのであるし、この役割をどのようにデジタル化の中で磨き上げ新業態として開発してゆけるかはこれからの課題だろう。

◇社会性ある新リスクへの挑戦

昨今の保険業界を見ると、新たな潮目の変化を否が応でも感じざるを得ない。顧客ニーズの多様化や、新たなリスクや災害に備えるための保険商品の要請、ルールの変更による製販分離、機能分化は、保険会社に商品引受機能の強化やサービスの高度化を要請するところとなった。マイナス金利の常態化で、貯蓄性保険を中心とした商品政策も大きく転換局面に入っており、保障性商品を基本にしたコンサル販売重視を基本にした転換を急いでいる状況で、事業モデルの再構築を求めるところとなっている。

デジタル化等の進展に伴い、新リスクへの保険商品対応も活発化している。金融サービス分野への情報技術革新、例えば仮想通貨等（ビットコイン）の推進に伴う未知のリスクへの対応、AIやビッグデータ、カメラ・センサー技術などの活用による各種ロボットや自動運転車の開発に伴い、情報トラブル、情報漏えい、サイバー攻撃などのリスクに対する備えも極めて重要かつ喫緊の今日的テーマになってきている。

損保もこうした点を踏まえ新商品開発を促進・強化させている。自動運転車開発・実走実験に伴うリスクカバー、レベル3までの事故時の被害者救済費用等補償特約の開発、中小法人向けサイバー保険の開発、仮想通貨がらみのリスクカバーの保険開発など新リスクへの対応を図るべく、社会性ある商品開発が目立つ。一方、生保でも、高齢化社会対応で、トンチン性を加味した新商品の開発や不妊治療保険などが開発・商品化されてきているのをはじめ健康増進に絡めた商品開発を活発化しており、2017年は新商品開発はさらに活発化しそうだ。

2017年は、保険業界では、局面転換期ならでの、社会性ある保険商品やサービスの開発ラッシュ、新業態開発の動きは一層活発化することになろうし、時代の先を読みどのような次の一手を打ち出すのか、一人保険会社のみならず、保険代理店にとっても、社会的な視野での事業モデルの選択、人のネットワーク産業の彫り込み、付加価値の創造が重要なこととなることは間違いない。

◇代理店の近未来モデル

デジタル化は、また従来型の代理店経営の在り方にも新たな問題を提起する。頑なな規模信仰がいかに危ういかということである。従来の自己完結型・閉鎖的・自前主義の企業支配の在り方、垂直型の縦組織の在り方は立ちいかなくなり、オープン型のネットワーク型のシンプルな組織に大きな潮流の変化が起こっているからだ。代理店経営は、その意味で、従来型の経営の近代化すらクリアしてないため、まずは近代化を急ぐことに向かっているように見える。

事業の現代化、近未来化では、これまでの重厚な組織経営化は、経営コストの硬直化を伴い、かつ顧客へのきめ細かな対応を難しくしてゆく。ルールの変化や市場の急激な変化への対応面ではにっちもさっちもいかなくなりつつあり、デジタル化の下でオープンイノベーション、すなわち良質な外部のノウハウを生かし成長するネットワーク型のビジネスモデルが求められているからだ。

保険代理店は、顧客に寄り添う、人のネットワーク産業という強みを生かし生活支援業、事業法人支援業というコアのビジネスモデルをさらに発展させるために、ネットワークを活かしたコンパクトで機動的で生産性の高い事業モデルを構築していくかが問われる。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

飛騨街道は、岐阜から出発（郡上街道）

「飛騨街道」と言うと、深い山間部の中を行く街道、あるいは高山に到る街道などと、さまざまなイメージが浮かぶことでしょう。

今回から、そんな飛騨街道を、主に江戸時代のルートで訪ねていきたいと思います。

さて、飛騨街道は、中山道、東海道などのように一つの街道の名称ではありません。中世、各地から鎌倉に至る街道を鎌倉街道と称したように、各地から高山に至る幾つかの街道を飛騨街道と称していたのです。

岐阜県の地図を見ると分かりやすいのですが、まずは、関から金山を通り高山へ至る飛騨街道があり、途中、上之保経由と武儀町経由がありました。

また、中山道太田宿から北上し神淵（七宗町）の追分で、関経由の飛騨街道と合流するルートがあります。太田から飛騨川沿いに金山に至るルートもありましたが、このルートは筏下りの人々や地元の人々が使用する程度だったと言われています。概ね現在の国道41号が通っているルートでしょうか。

そして、越中富山から神通川沿いに高山へ至る飛騨街道は、飛騨との国境あたりで、宮川経由の飛騨街道西道と、概ね高原川の右岸を通る神岡経由の飛騨街道東道と、高原川の左岸を通る飛騨街道中道という3ルートがありました。ちなみに、富山・高山間の飛騨街道は、飛騨側から見ると越中に向かいますから、飛騨の人々は飛騨街道西道を越中西街道、飛騨街道東道は、越中東街道、そして飛騨街道中道は越中中街道と呼んでいました。



今回は、岐阜から関へ、そして関から金山経由で飛騨街道を訪ねたいと思います。それは、律令時代、東山道の方県駅（岐阜市長良）から分岐して飛騨国府に向かう加茂駅（富加町）、武儀駅（下呂市金山町菅田）と通り飛騨に至っていたルートと似ているからです。

まずは、江戸時代、長良川の湊町として栄えた岐阜町と中山道加納宿との中間点、現在の金園町2丁目の交差点、かつて名鉄の美濃町線が走っていた道路ですが、ここがかつて郡上街道の起点ですから、そこからスタートして北一色、日野、芥見、そして関へと向かうことにします。

（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）。

監修に『岐阜地理・地名・地図の謎』（実業之日本社）、『写真アルバム飛騨の昭和』（樹林舎）がある。

J-net レンタリース株式会社

本社所在地 名古屋市東区東桜1-5-7

TEL: 052-963-8231



レンタカー店舗 岐阜県 4店舗	
Jネットレンタカー岐阜駅前店 (岐阜市加納栄町通2丁目18番地)	TEL: 058-274-0582 FAX: 058-274-0566
Jネットレンタカー大垣店 (大垣市長松町高西1072-1)	TEL: 0584-93-4154 FAX: 0584-93-4155
Jネットレンタカー多治見店 (多治見市宝町11丁目38番1)	TEL: 0572-21-2543 FAX: 0572-21-3707
Jネットレンタカー関店 (関市円保通2丁目3番5号)	TEL: 0575-21-7557 FAX: 0575-21-7558

※その他愛知県11店舗、
三重県2店舗など直営店・
フランチャイズ店含めて
25都道府県にて展開中
(H25・6月時点)

メーカー・排気量・使いやすさ・環境への配慮をした普通車からワゴン車・輸入車・福祉車両まで、
様々な車種をご用意しております。

多種・多様なニーズに応えるために、一人一人がおお客様の立場にたった素早い行動を心がけます。

レンタカーのご用命は、是非Jネットレンタカーへ！

SHINWA グループ 本年も当グループ一丸となって尽くして参りますのでよろしくお願い致します。

先日の雪と凍結の影響から自費修理のお見積りのお客様がご来店いただくケースが増えてきています。修理金額を抑えたい時には各工場共、リサイクルパーツの検索手段を持っており、即日回答はもちろんのこと、部品が見つかるまで探すことも可能です！ 北は北海道から南は沖縄まで、各種自動車の部品も検索可能です！！
保険修理も迅速対応を心がけておりますので、用途や地域に合わせて各工場に直接ご連絡ください。

オートボデーショップ篠田	大垣市上面 4-60	0584-74-7892
平野钣金工業	岐阜市中鷯 1-120	058-271-0773
オートサービスイトウ	瑞穂市生津天王町 1-98	058-327-7167
和田钣金工業	岐阜市敷島町 8-105	058-251-7065
AUTO PIT 羽島钣金	羽島市竹鼻町狐穴 1413-1	058-392-1521
オートリペアカワシマ	岐阜市打越 548	058-232-4185
三田自動車工業	大垣市十六町 618-1	0584-91-7381
成田钣金工業所	多治見市小泉町 1-164	0572-22-5456
東美自動車	中津川市茄子川 2076-68	0573-68-3126
リフレッシュセンター渡辺	瑞浪市小田町 1864-2	0572-68-0980
カトー自動車工業	可児市瀬田 1085-1	0574-62-3207
米野自動車工業	下呂市東上田 479-1	0576-25-2549
エコなおしのライト	高山市石浦町 9-408	0577-62-9345

毎日があんしん。

県下トップのセキュリティ専門企業の日本ガードが、
身近な「あんしん」のお手伝いをさせていただきます。

安心・充実のセキュリティ

HOME SECURITY

- 日本ガードホームセキュリティ
- 短期間ホームセキュリティ
- 見守り情報サービス
- ライフリズムサービス

OFFICE SECURITY

- 機械警備システム
- 画像監視システム
- 出入管理システム
- 警備輸送システム
- 通貨処理システム 等



SPECIAL SECURITY

- 交通誘導警備
- 博覧会・各種展示会等の警備
- 雑踏警備
- 要人警備



ALSOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6 電話：058-274-4400 担当：清水
e-mail：eigyou@nihonguard.co.jp URL：http://www.nihonguard.co.jp

ダメージカー（事故車・中古車）のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712

愛知県名古屋市東区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp



- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク：札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本/プリズベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォーターズポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合
JAGU認定
国土交通省支援試験 一級取得
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175 (代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

いつもお世話になっております。 **有限会社 イブカ** です。

※ 365日 24時間 レッカーサービス

どんな事故でも対応致します!



※ 365日 24時間 レンタカー 現場配送サービス

レッカーサービスと同じように御用命下さい。

フリーダイヤル 0120-495-039 携帯電話 090-3309-2925

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249 TEL 058-388-5678 FAX 058-388-5679

岐阜本荘営業所 岐阜市数島町 9丁目1-1

岐阜羽島営業所 羽島市足近町 3丁目 634-1

岐阜本社工場 羽島郡笠松町門間 726-1

新提携業者のご案内

現在、岐阜県代協では、会員様に対してのメリット事業として、各種事業者と業務提携し、事故時の対応に役立
ていただいていることと存じます。

そこで、今月より下記提携業者を新たに業務提携いたしましたのでご案内します。皆様の利便性に合わせお役立て
いただければと存じます。ご利用の際ご不明な点等は事業者または事務局までお問い合わせください。

バイクの 代車！



◆原付からハーレーまで幅広い車種をご用意！ ◆ ご自宅や修理工場まで無料配送！ ◆

レンタルバイク岐阜大垣店

〒503-0012 大垣市世安町 3-16
マジオドライバースクール大垣校内

0120-4107-41

編集後記 1月13日より寒冷前線の南下により大雪となりました。こんな降り方をすると飛騨育ちの私は

昭和56年のゴウロク豪雪を思い出さずにいられません。年末から降り出した雪は元旦になっても止まず、
5日間で7メートルくらい積ったのを覚えています。雪で道路が二階建て住宅の二階と同じ高さになり、降り
積もった屋根の雪は降ろすのではなく、上に放り投げると言ったくらいの積雪だったのを覚えています。

35年も前の事ですが・・・でも当時は異常気象と言わなかったような気がします。

代協ニュース年度後半の投稿記事は各委員会の担当副会長にお願いしてあります。お楽しみに！

飛騨支部 徳永 徹

発行日／平成29年 1月25日

責任者／畦地正治 発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、北村篤俊、水川博之、後藤信男、後藤哲裕、今津洋平、小倉治実、清水公男

畦地正治、森 信彦